【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和4年7月19日(2022.7.19)

【国際公開番号】WO2021/100614
【出願番号】特願2021-558343(P2021-558343)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 38/01(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/03(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/05(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/06(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/02(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/39(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/08(2019.01)
Ａ６１Ｐ 25/28(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/24(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/18(2006.01)
Ａ６１Ｐ 3/02(2006.01)
Ａ２３Ｌ 33/18(2016.01)
Ａ２３Ｌ 33/105(2016.01)
Ａ２３Ｌ 2/52(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 38/01
Ａ６１Ｋ 38/03
Ａ６１Ｋ 38/05
Ａ６１Ｋ 38/06
Ａ６１Ｋ 38/02
Ａ６１Ｋ 38/39
Ａ６１Ｋ 38/08
Ａ６１Ｐ 25/28
Ａ６１Ｐ 25/24
Ａ６１Ｐ 25/18
Ａ６１Ｐ 3/02
Ａ２３Ｌ 33/18
Ａ２３Ｌ 33/105
Ａ２３Ｌ 2/00 Ｆ
Ａ２３Ｌ 2/52

【手続補正書】
【提出日】令和3年4月5日(2021.4.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
プロリンを含有するジペプチド又はグリシン及びプロリンを含有するトリペプチドを有効成分として含む、神経心理学的機能低下に起因する症状及び／又は疾患の予防及び／又は改善のための、神経心理学的機能改善剤であって、

前記プロリンを含有するジペプチド又はグリシン及びプロリンを含有するトリペプチドが、
ヒドロキシプロリン－プロリン、
プロリン－アラニン、
プロリン－プロリン、
プロリン－セリン、
グリシン－プロリン－プロリン、
グリシン－プロリン－ロイシン、
グリシン－プロリン－セリン及び
グリシン－プロリン－システイン
からなる群より選ばれる１種以上である神経心理学的機能改善剤。
【請求項２】
大豆ペプチド及びコラーゲンペプチドを有効成分として含む、神経心理学的機能低下に起因する症状及び／又は疾患の予防及び／又は改善のための、神経心理学的機能改善剤。
【請求項３】
大豆ペプチド及びコラーゲンペプチドが、相乗効果を有する比率及び含有量で配合されていることを特徴とする請求項２記載の神経心理学的機能改善剤。
【請求項４】
神経心理学的機能の低下に起因する症状及び／又は疾患が、アルツハイマー型認知症、うつ病、老化による記憶障害、自閉症スペクトラム障害、双極性障害、統合失調症又は慢性疲労症候群である、請求項１～３のいずれかに記載の神経心理学的機能改善剤。
【請求項５】
大豆ペプチドが、サーモリシン消化物であることを特徴とする、請求項２～４のいずれかに記載の神経心理学的機能改善剤。
【請求項６】
大豆ペプチドが、アミノ酸配列ＬＳＳＴＱＡＱＱＳＹ（配列番号１）から成るペプチドを含み、かつ前記コラーゲンペプチドが、プロリンを含有するジペプチド又はグリシン及びプロリンを含有するトリペプチドであることを特徴とする、請求項２～５のいずれかに記載の神経心理学的機能改善剤。
【請求項７】
前記コラーゲンペプチドの平均分子量が１００～６０００である、請求項２～６のいずれかに記載の神経心理学的機能改善剤。
【請求項８】
前記コラーゲンペプチドが、
ヒドロキシプロリン－プロリン、
プロリン－アラニン、
プロリン－プロリン、
プロリン－セリン、
グリシン－プロリン－プロリン、
グリシン－プロリン－ロイシン、
グリシン－プロリン－セリン及び
グリシン－プロリン－システイン
からなる群より選ばれる１種以上である、請求項２～７のいずれかに記載の神経心理学的機能改善剤。
【請求項９】
請求項１～８のいずれかに記載の神経心理学的機能改善剤を含む、神経心理学的機能改善用医薬組成物。
【請求項１０】
請求項１～８のいずれかに記載の神経心理学的機能改善剤を含む、神経心理学的機能改善用飲食品組成物。

【請求項１１】
請求項１～８のいずれかに記載の神経心理学的機能改善剤を必要とする患者又は予備軍に、当該神経心理学的機能改善剤を投与する工程を含む、神経心理学的機能低下に起因する症状及び／又は疾患を予防及び／又は改善する方法。
【請求項１２】
（削除）